

**令和5年度  
全国学力・学習状況調査  
学校の調査結果**



**令和5年12月  
海老名市立杉本小学校**

令和5年度

# 全国学力・学習状況調査について

## 調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

## 調査内容

- (1)教科に関する調査【国語、算数・数学、英語(中学校3学年のみ)】

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

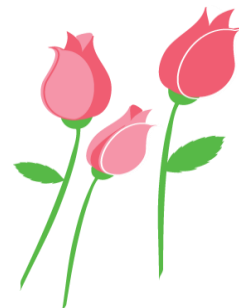
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

## 調査実施日

令和5年4月18日(火)

※児童生徒質問紙調査(一部)について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



# 小学校 国語

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・情報と情報との関係を捉えたり、グラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすることができるかどうかをみる。
- ・目的に応じて必要な情報を見付けたり、情報を関係付けて整理したりして、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
- ・話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができます。
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができます。
- 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができます。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができます。

### ◆課題のある点

- 文章の種類と特徴を理解することができます。
- 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができます。
- 日常よく使われる敬語を理解することができます。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 紹介文、提案文、物語文などの文章の種類やそれらの文章の特徴について、意識的に区別できるよう指導していきます。
- 話の目的や話の内容を十分に聞いたり、自分はどのような情報を求めているのか明確にして聞いたりすることができるように指導していきます。また、話し手と自分の考えを比較して相違点や共通点を整理し、共感や納得した事例を取り上げたりしながら自分の考えをまとめることができるように指導していきます。
- 場面や相手に応じた敬語の使い方を学び、日常生活で活用できることを目指します。話す相手や場面を意識し、会話の中で敬語を使う経験を積み重ねていきます。

# 小学校 算数

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・日常生活の場面の数量の関係に着目し、伴って変わる二つの数量の関係について考察できるかどうかをみる。
- ・基本的な図形の内容や直線の位置関係について理解し、図形を構成する要素などに着目して図形の性質や図形の計量について考察できるかどうかをみる。
- ・数量の関係に着目して問題場面を解釈し数学的に表現・処理したり、計算に関して成り立つ性質を基に計算の仕方を考えたりすることができるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、目的に応じて、表やグラフからデータの特徴や傾向を捉えることができるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的にできている点

- （ ）を用いた式や、たし算とかけ算の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができます。
- 示された日常場面を解釈し、小数のたし算やかけ算を用いて求め方と答えを式や言葉を用いて記述することができます。
- 正方形の性質について理解しています。
- 二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができます。

### ◆課題のある点

- 百分率で表された割合について理解しています。
- 正三角形の意味や性質について理解しています。
- 三角形の面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することができます。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 基にする数や比べられる数との関係性や乗除法の関係から百分率の意味についての理解を深め、歩合と百分率に互いに変換するなど割合に対する感覚を養っていきます。また、基にする数の変化に伴い1当たり量が変化することが理解できるよう具体物や略図を用いて指導していきます。
- 図形を形成する辺の長さや角の大きさに注目させ、正多角形の性質や特徴を整理しながら、作図や数量測定を通じて図形をイメージできるように指導していきます。また、示された場面において特定の図形を形成する上で必要な要素を見つけるための手順や考え方を指導していきます。
- 面積を求めるための基礎的な公式の理解や、ICT 機器や具体物の操作を用いて公式を証明し、理解力を高めていきます。また、図形の面積を求める上で必要となる要素を示された場面において読み取るために、数値化された情報や条件下で推測される数値を区別しながら論理的に考える指導を行っていきます。

# 児童質問紙

## 学習について

### ◆本校のよかったところ

○国語・算数・英語ともに「国語(算数・英語)の勉強は大切だと思いますか」に対して、ほぼ全員が「大切だと思う」と答えています。また、どの教科においても、「授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と答えている割合が高くなっています。

○授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している児童が全国平均に比べて高くなっています。とくに総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて、情報を整理して工夫してまとめるなど発表することへの意欲がうかがえます。

### ◆本校の課題と思われるところ

○学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると答えている児童の割合がやや低くなっています。

## 生活について

### ◆本校のよかったところ

○「いじめは、どんな理由があってもいけないこと」だと思っている児童が多数を占めています。「いじめはいけない」ということの意味を深めていることがうかがえます。

○「人が困っているときは、進んで助けていますか」に質問にほぼ全員の児童が「はい」と答えています。また、「友達関係に満足していますか」の質問にも多くの児童が「はい」と答えています。学校生活を通して、友達との関係を深めていっていることがうかがえます。

### ◆本校の課題と思われるところ

○「自分には、よいところがあると思いますか」の質問に、「当てはまる」と答えた児童の割合がやや低くなっています。

## 今後の具体的な取組について

○修学旅行、運動会などの学校行事を通して、最上級生にしかない役割があるということを説明していきます。責任をもって活動をすることで、学校に必要とされる責任感や、低学年が高学年に憧れや信頼する気持ちをはぐくんでいきます。また、学級活動や委員会でも、集団活動の中で個に応じた役割を設定することで、所属意識を高める指導を行っていきます。

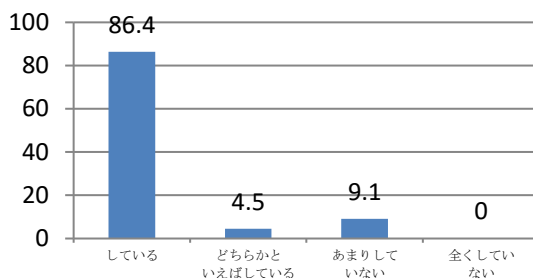
○児童の長所や進歩、頑張りを認め、さらには友だち同士での相互評価を取り入れることで、自分への肯定的な気付きを促していきます。教師自身が児童に対して前向きな声かけを意識するとともに、間違いや失敗も肯定的な意味づけをして自信がつくような雰囲気づくりに努めていきます。

# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

## 1 規則正しい生活を続けていきましょう。

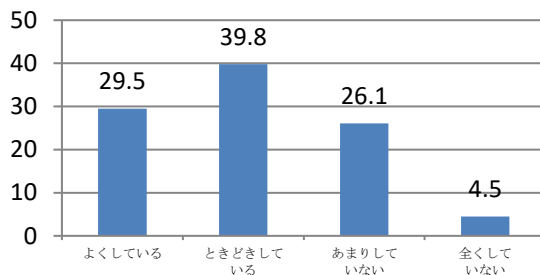
毎日朝ご飯を食べることで活動や学習のための体の準備ができます。これは生活全体のリズムを保つうえでとても大切なことです。



【朝食を毎日食べていますか】

## 2 計画的に家庭学習に取り組みましょう。

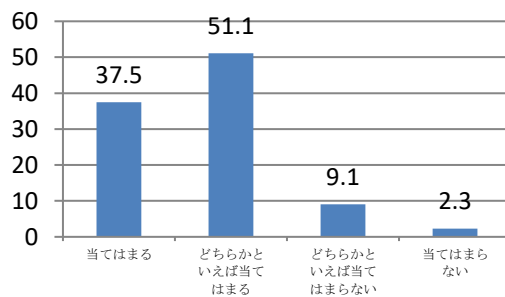
これからの時代は、自分で学び方を考えたり、調整したりする力が大切になってきます。家庭では、児童自らが計画を立てて学習に取り組むことができるような支援を図りましょう。



【家で自分で計画を立てて勉強をしていますか】

## 3 子どものよいところを認めて褒めましょう。

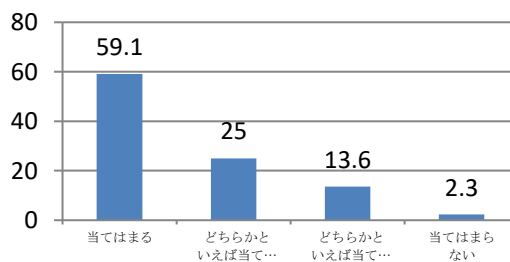
褒められることで、子どもたちは自己肯定感が高まり、何事にも前向きに取り組むための自信がつけます。積極的に子どものよいところを認めて褒めていきましょう。



【自分にはよいところがあると思いますか】

## 4 夢や目標について話し合みましょう

夢や目標を明確に設定することで、今の生活をより充実させることができます。ぜひ、お子さんが将来に向けて希望を持てるようにご家庭で夢や目標について話し合みましょう。



【将来の夢や目標を持っている】

## 文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

### 1. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 指導改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

### 2. 英語の学習指導の改善・充実

- 海外の学校等との国際交流や協働的な学習の推進
- 科学技術人材の育成

### 3. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 国費による学校 DX 戦略アドバイザーの派遣等による支援
- 切れ目のない研修コンテンツの提供

### 4. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

### 5. 学校における指導・運営体制の充実

- 小学校における35人学級の計画的整備や高学年教科担任制の推進等のための教職員定数の改善
- 教員業務支援員や学習指導員等の支援スタッフの充実

### 6. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和5年度調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

## 海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



**多様性を受け止め、多様性を生かし、  
えびなっ子ひとりひとりの  
学びを保障する教育をめざします**



### 3つの重点

- ①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③特色ある学校づくりの推進

#### ①授業改善の実践

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- 今日的な教育課題であるプログラミング教育、外国語教育、キャリア教育などを実践します
- 学校ICTを有効に活用します
- 市教育委員会として、実践のために必要な学校へのサポートを行います(予算確保や環境整備、教職員向けの研修など)

【市の結果についての問い合わせ先】  
電話 046-235-4919  
海老名市教育委員会教育支援課 指導係